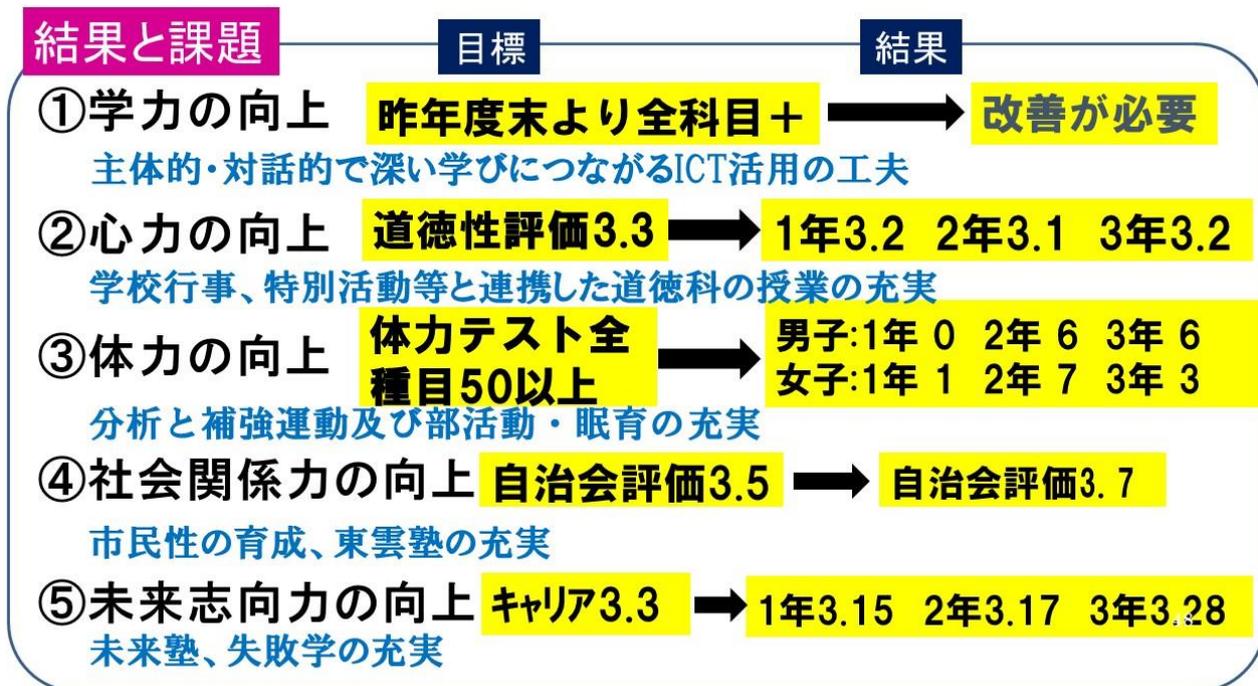
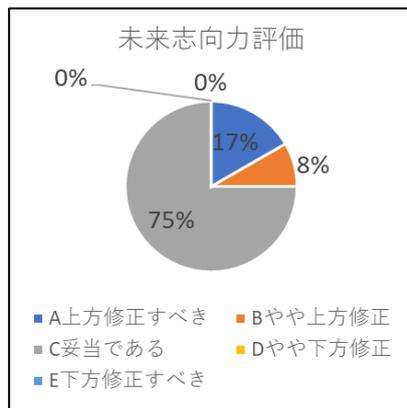
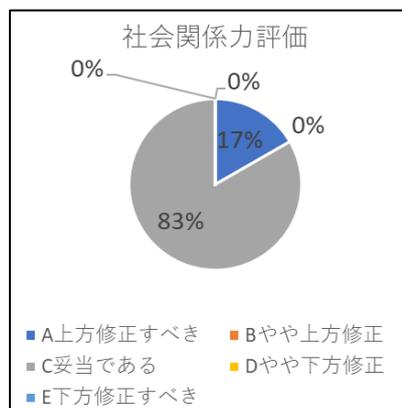
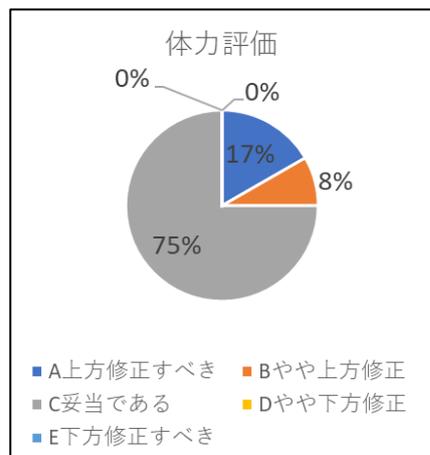
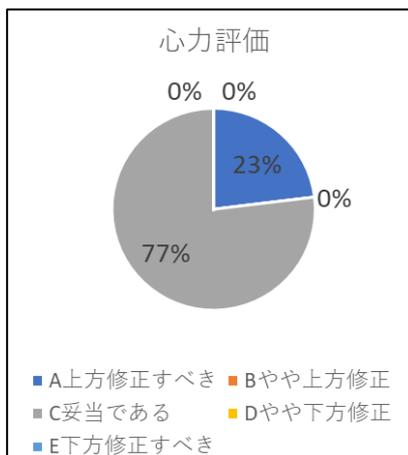
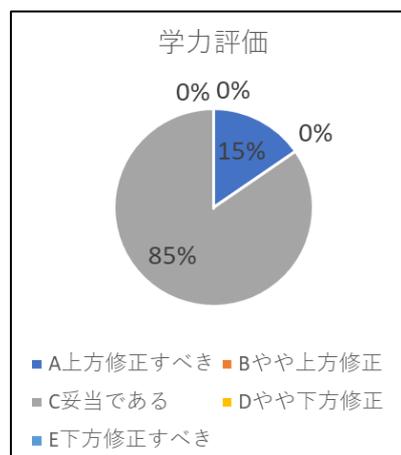


## 学校関係者評価委員会の前期評価結果

○前期自己評価の結果と課題



○学校関係者評価結果



## 1 学力の向上について

- 授業以外の学習時間が多いことは良いが、自分で<家で>計画を立てて学習をしているという項目が低い。塾による受身学習か？
- 学校の授業以外の学習時間では全国・県に比べ学習時間が長い、家で自分で計画を立てて学習しているのかの項目では、全国・県ともに下まわっている。宿題等与えられた学習ですか。
- 学力向上は順調に進んでいると思います。
- もう少し頑張ればまだ上を目指せるのではと欲張ってしまいそうになりますが、全体での結果と思えば現状で妥当だと思います。3年生の9月度より下がっているのが気になるが全国との差が15ポイント高いのは評価が高いと思う。コロナ禍より導入されたオンライン学習が学級閉鎖などで生かされている。
- 「振り返り」は小学校でもさせています。小中で継続して指導をしていけばもっと生徒や教師の評価も上がると思うのでしっかり連携していきたいです。
- 学力の結果、特に2年生の結果が素晴らしいです。生徒アンケートの数値が高いのは先生方の支援の結果だと思います。

## 2 心力の向上について

- 夢や目標に向けてチャレンジし続けている項目が低い
- 道徳性が前年に比べ、高くなっている事は望ましい。但し、自分に対しての評価が低いのが気になります。
- 不登校については予備群の対応が必要と思っています。
- 不登校の原因は様々ある中、ケースに応じた対応を行いつつ、全体にはハッピーマンデーや校内放送等でウェルビーイング向上を目指す取組は素晴らしいと思います。東中は不登校対策においてかなり結果を出しているようであるが不登校予備軍の不登校になりかけている子供の数にも意識して対策してほしい。
- 不登校出現率が着実に減少してきているのがすごいと思いました。「自分には良いところがある」の項目はたしかに平均よりは低いですが、4人に3人は肯定的評価と考えると小学生ではなく中学生なので高いのではないかと思います。もちろん4人に1人は否定的に評価しているので、その子たちにどうアプローチしていくのか、小学校としても考えていくべきことだと思います。
- 不登校の出現率が減少しているのは、素晴らしいです。先生方の日常的な子どもたちへの関わりや対策が効果的だと思います。

## 3 体力の向上について

- 全校的に50m走が低い。脚力強化対策をする。
- 3年女子が全国平均を下回るのは部活等の卒業が影響か。
- 体力テストの結果をふまえて弱いところは体育の授業等で対応する必要があると思います。
- おおむね妥当であると思うものの、3年女子の結果を考えるともう少しだけ体力向上を目指しても良いのかもしれませんが。
- 3年間で体力が着々と上がり結果を出している。
- 東魂祭、中体連と保護者として参加しました。生徒たちの姿を見てとても感動しました。先生方の日頃からのご指導の積み重ねがあつてこそだと思います。ありがとうございます。
- 体力については、1年生がやや低いというのは小学校での体力に対する取組が効果を表してないことも原因かだと思います。小中で連携して、小学校でもしっかり取り組む必要があると思いました。

## 4 社会関係力の向上について

- 市民性アンケート結果では、挨拶や協力性が高い評価となっているが自治会活動やボランティア参加者は減少傾向である。
- 今年度から地域行事に参加する生徒が極端に少なくなっている。原因は何なのか。参加予定者が不参加の場合の連絡が無い事が多い。
- 地域行事への参加に感謝
- 地域との関係は強化されていると思います。

- 積極的に地域の行事に参加してくれる生徒の多さに感謝しております。ただ、全く参加したことがない生徒もいるのかも心配してしまいます。まずはあいさつからですね。
- コロナ禍でなかなか積極的に活動できなかったと思うが夏祭りなどに楽しそうに積極的に参加していた。
- どれも高い評価ですばらしいと思いました。小学校を通ってくる中学生もあいさつを返してくれる子、率先してあいさつをしてくれる子がたくさんいます。
- 市民性アンケートで、学年が上がるにつれ、地域への思いやあいさつの「よくできる」が少なくなっているのが気になりました。ただ、思春期なので仕方がないかなとも思います。

## 5 未来志向力の向上について

- 将来に対する夢・目標に対する意思表示が弱い。キャリアプランニングへの取組を検討する。
- 以前、地域の店舗等に研修を行い、社会経験を行っていましたが、現状はどうなっていますか。
- 未来塾、失敗学の有効活用を推進する。
- キャリアアップ講座とともに失敗学講座も開催されていてとてもよいと思います。いろいろな大人が居ることを知るの大切だと思います。
- 未来志向力の向上に向けて先生方の工夫や努力を感じる。失敗学講座などは東中独自の講座ですばらしい
- キャリアアンケートで現状を把握することがとても大切だと分かりました。小学校段階から子どもたちの意識を高めさせていくことで中学校につながり、より高まると思うので、導入を検討したいと思います。
- 未来塾やキャリアアップ講座、失敗学講座と子どもたちにとって魅力的な取り組みがなされていると思います。

## 6 全体をとおして

- 学習や部活動への取組意欲は高いが、生徒の市民性（自治会活動へのボランティア参加など）は薄れてきているのでは？
- 全ての項目の評価が上がればと思う気持ちとついて行けなくなる生徒が出ないようにと願う気持ちと、絶妙なバランスを保ちながらねばり強く今の取り組みを続けて行って欲しいと思います。
- 全体的に少しずつではあるが着実に目標を目指して努力していると思う。結果ばかりにとらわれず3年間心と身体が大きく成長し社会に適応できる人間形成を育んで行ってほしいと思う。
- 様々な取組がなされており、先生方の日頃の努力がよくわかりました。そのことが高い数値となって表れていると思います。小学校としては、中学校につながるよう、学力、体力等の取組をしていきたいとおもいます。
- 校長を中心に組織的な学校運営が展開されています。併せて、「自ら動き、人を育て、先を見通す」校長のリーダーシップが発揮されています。